

第2回講演会



なぜいま、日本語を
世界に急いで広める
必要があるのか

鈴木 孝夫 氏

(慶應義塾大学 名誉教授)

専門は言語社会学、言語生態学。1926年東京生まれ。1950年慶應義塾大学に着任。以後、定年まで在籍。これまで世界各国の大学・研究所にて研究員、訪問教授、訪問フェローを歴任。『ことばと文化』『日本語と外国語』『日本の感性が世界を変える—言語生態学的文明論—』など著書多数。

みなさんは「『タタミゼ』力」という日本語がもつふしぎな力をご存知ですか？私は、日本語を世界に広めることこそが、日々混乱し、対立を深める世界をまとめ、平和を築く方法であると考えています。本講演では、日本語・日本文化が持つ力を再認識し、日本語教育がもつ意義について、皆さんとじっくりと考えてみたいと思います。

指定討論者

伊東祐郎 (東京外国語大学 教授)



10月19日 (木)

17:45-19:15 (17:40開場)

於 研究講義棟101教室

入場無料／申込不要